

【評価実施概要】

事業所番号	170503924		
法人名	有限会社アイ		
事業所名	グループホーム澄川の丘		
所在地	〒005 - 0006札幌市南区澄川 6 条 7 丁目 1 -1 011 - 583 - 8181		
評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	〒060 - 0061札幌市南 1 条西 5 丁目7愛生館ビル601B		
訪問調査日	平成20年2月27日	評価確定日	平成20年3月28日

【情報提供票より】 (平成20年2月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成18年3月10日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	15人, 非常勤 2人, 常勤換算0.85人

(2) 建物概要

建物構造	木 造		
	2階建ての	1 ~ 2	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	光熱費 20,000円
敷 金	無		冬季(暖房含 25,000円)
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	300 円	昼食 500 円
	夕食	400 円	おやつ 0 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要 (平成20年2月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護 1	3 名	要介護 2	7 名		
要介護 3	4 名	要介護 4	2 名		
要介護 5	2 名	要支援 2	0 名		
年齢	平均 83.4 歳	最低	65 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	林下病院、小笠原クリニック札幌病院、愛全病院、なかさと歯科クリニック
---------	------------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

南区澄川の台地であって、澄川東部を眼下に治める展望のよいところにある。居室、居間、トイレ、浴室は介護上も生活にも機能的に配置されて、居心地のよい環境にある。採光、換気、温湿度等の管理もよく、個別に安らぐ場あり、来客の面談にも応用できる。職員は明るく、活気があり、きめ細かな気配りと配慮のもとに優しい支援をしている。ペット犬の導入や、近隣ボランティアの支援活用、デイ機能の活用など多様な介護方法の導入に工夫がある。また、積極的な運営推進会議の開催によって家族・専門機関の意向や助言を得て、円滑な運営を図っている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 特に改善課題は示されていなかったが、逐年職員の資質向上に努めると共に、介護方法の質的向上や地域との関係性を深めながら、多様な介護環境の充実を図っている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価方法の変更があったが、職員全員が自己評価の意義を理解し、日頃の業務課題に真摯に取り組み、さらなる向上へと取り組むべき課題を評価している。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議への取り組みは積極的で、2ヵ月毎の定例開催。運営状況報告(入居・面会・事故・入退者・行事・研修・講演・ボランティア等)を資料と共に示し、参加委員の意見・助言を得ている。委員は家族・包括支援センター・町内会・かかりつけ医や看護師など多様で、全てに公開的な態度が伺える。なお、外部評価の結果も課題として提示されている。災害に対する地域との協力関係については今後の課題としている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 意見箱の設置などがあるが、このホームの特徴として家族等の面会頻度が極めて高く、家族を含めて多くの方々々がホームの様子や入居者との交流の多さを意味していると思われる。職員はこうした交流の機会に間接的・直接的にかかわり、家族等に日頃の生活上の課題に応じて、意志の疎通を図り運営に活かしているものと考えられる。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) ホーム内の日常プログラムが多様で、これらの支え手の一部が地域などのボランティアに負うことにある。また、運営推進会議の積極的開催や地域町内関係者との交流と地域社会資源の開発に努めており、さらなる発展が期待できる。

評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域生活の継続支援を重視し、「住み慣れた地で生活できる」という理念を掲げ、安心して暮らしていける支援を実践している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホームとしての統一した理念と全職員と相談しながらユニット毎の理念を作り、KJ法など取り入れてミーティング時に確認しながら支援に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、町内会の行事には積極的に参加し交流を深めている。今年からホームの行事である夏祭りには、地域の方に呼びかけを強化していくことになっている。町内会で介護の話をしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービスの質の向上に向けて取り組むために、自己評価の意義を正しく理解している。外部評価で自分たちが見えていないところを指摘してもらい、改善に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月ごと定期的開催し、参加者も家族はもちろん包括支援センターからは毎回2名・協力病院・看護師・町内会・時には実習生も参加している。入居状況・事故報告・面会・受診状況報告を判り易く表にまとめ、会議レジュメを作成して開催している。議事録もよくまとめて書かれていている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>利用者の介護支援関係や制度上のかかわりも多く、常時行政との情報交換や指導、質問の機会をもっている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>訪問する家族が多く、毎日の訪問者が平均3人になっている。アンケートの中でも、生活状況を家族に良く伝えているという声が多い。今年は個人家族通信を発行することになっている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱も用意や訪問時のきめ細かな対応、運営推進会議への参加を全家族に周知など、出された意見を尊重し、実現に向けて取り組んでいる。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>退職者などが出たときは、新しい職員には、利用者の特徴・留意点等を詳しく伝えトラブルが起きないように気をつけている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員研修には積極的に取り組み、外部研修を受講後には、全職員への研修報告と学習会を企画し、研修効果を高めるようにしている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市主催の管理者連絡会議・南区の管理者会議と計画作成者の集いに参加している。ホーム間の見学会も実施している。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前に見学してもらい、本人の生活習慣などを詳しく聞き出し、支援に努めている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員と利用者という関係ではなく、共に家族の一員として接している。利用者も穏やかで生き活きとした顔をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人の希望を聞くことはもちろん、家族からも生活歴を聞き出し、ケアプランに活かしている。自己表現ができない利用者には、家族と相談して支援をしている。</p>		
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>家族の来訪時・電話連絡などで要望等を聞き、カンファレンス会議で話し合いをして介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>毎月ケアプランの見直しとカンファレンス会議・ミーティングで検討しながら、状況に応じて対応している。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>かかりつけの病院・美容院などへの送迎をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	2週間に一度の往診と通院で健康支援をしている。		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	終末期・重度化の指針を作成し、入居時に確認している。実際になった場合は再度家族と話し合う。医療の面で医者との判断と協力が必要と考えている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	個々の性格を把握し、声かけに注意しながら対応している。今後カンファレンス会議においても、再確認をしていくことになっている。個人情報にはきちんと保管されている。		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	一日の流れは作られているが、個々人の希望する買い物・散歩・趣味等を最大限受け入れるように対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事メニューは一応作成しているが、買い物に同行して食材を選んで料理作りにも参加している。利用者の希望を取り入れつつ、栄養・病気に配慮して作られている。利用者と職員が同席し、会話を楽しみながら食事をしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日・時間の制限はなく、希望に沿うようにしている。デイサービスにあるヒノキ風呂（窓から見える景色がよい）を希望することができる。各ユニットの浴室から見られる風景もすばらしく、入浴を楽しめるようになっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴を把握し、得意な分野である料理・裁縫、飼育など趣味を生かすことができるように支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気のよい日は散歩・買い物に出かけている。あまり歩けない方は、庭に出て外気に当たり、季節感を味わっている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室・玄関には鍵がかけられていない。利用者の方で居室に鍵をかけている方がいる。夜間だけ外部の侵入阻止のため、施錠をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>各ユニットに消火設備が完備されている。防災・避難訓練を年2回開催されている。今後の課題として、運営推進会議と町内会の会合を活用し、地域との連携と協力を要請していくことになっている。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>疾患による食事・水分の制限をされている方にはチェック表による管理がなされ、職員全体が理解している。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関・居室・廊下・食堂・台所・浴室の広さは、十分確保されている。トイレは車椅子の利用でも十分な余裕を持って造られている。各ユニットに6畳ほどのラウンジが二つあり、一人になって外を眺めたり、家族だけで会話や食事もできるようになっている。居室は大きな窓枠で明るく、遠くの景色を見られるようになっている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、使い慣れた家具や装飾品を持ち込み、安心して過ごせるようにしている。</p>		

 は、重点項目。